

研究主題 全ての子供と教師がプログラミングを楽しむ東京都にする

I 団体の概要

「東京都小学校プログラミング教育研究会」は、東京都小学校におけるプログラミング教育普及と充実を図り、教職員の資質向上に寄与するために、東京都プログラミング教育推進校の教員をはじめとした都内の教職員が中心となって発足した研究会である。

研究推進団体として認可され、毎年研究活動を深め、進めている。



II 研究のねらい

身近なもの・ことにプログラミングが関わっていることについて、コンピュータを用いて体験的に理解し、活用する楽しさを実感させる。

III 研究の内容

- ・プログラミング教育の研究（公開授業・教材研究など）
- ・資料作成や教材研究、教材体験、実践授業など
- ・プログラミング教育関連の情報発信（HP 参照）

授業実践での子供たちの様子を見て、学級・学年だけでなく、より多くの子供たちが ICT 活用できる機会を作りたいと思い、教員向けの研修会や講師派遣、児童向けの課外活動等の取り組みを行なった。

IV 授業公開・研修会

プログラミング教育の実践や ICT 活用に際して、教科の観点で「本当に必要なとき」とはどんなときかという視点を大切にしている。どの教科においても、教科の本質的なところを達成するために、ICT が活かせる、欠かせない、そういう場面とはどういうところかを意識して、実践をしている。

例えば、教科書に「○時間おきに気温を測る」などの活動が示されているが、実際には毎日1時間おきに観察することが困難である。しかし、コンピューターなら自動で測ってくれることを思いつくようなきっかけを作ったり、実際に計測ができる様子を見せたりして、テクノロジーとの出会う経験をさせられると思い、授業実践を行った。

授業公開① 4年理科（授業者：鴻巣）

子供たちが知っていること・知らないこと・できないことを話し合う中で、実態も考慮し、ペア活動や座席配置に工夫をした。プログラミングが分からず手が止まることがないように、ヒントや動画を参照できるようにした。教員自身が意図的に介入し、他の子にも声をかけて助け合いを促すことを理想としている。

「子供たちが、理科の学びを生かして、仲間と協働して社会問題の解決を目的としたものづくり活動に取り組むことができていたか。」

「目指す子供像の実現に向けて、教師の手立てや介入は適切だったか。」の2点を視点に、同単元で授業公開・協議会を行なった。

○研修会 プログラミング教育 明日会議 2025

夏季休業期間にプログラミングなど、子供たちの興味・関心の高い分野に取り組む機会を設定した。複数の企業・団体と連携して企画し、午前中は子供たちを対象としたワークショップを行なった。参加した子供たちが自由に発想して工夫する姿が見られた。同会場にて午後は、教員対象の研修会を行なった。参加者が主体的に学べる機会にしたいと考え、「プログラミング×□」をテーマに研修を行った。基調講演で学び、実際に体験し、参加者間で協議することで、学校で使用するイメージをもって取り組めるように配慮した。



○連携研修 東京都教職員研修センターと連携して研修を実施した。事例発表・実技研修の機会を作ることができた。

授業公開② 5年図画工作科(授業者:田村) ※指導教諭・模範授業
【題材名】 図エ×プログラミング
 「動き」と「光」の造形表現を、プログラミングで実現する。自分がつくりたい車のイメージに合わせて、動き方や光の点滅を工夫する。社会科やプログラミング学習とつなげた、教科横断的な授業デザインを考えた。

V 研究の成果と課題・今後の活動予定

【成果】研修会や授業公開、東京都教職員研修センターと連携した研修、事例発表を通じて、参加者が実践を知る機会をつくることができた。今年度は若い会員の先生方が実践例を出しており、今後も意欲的に研修や実践を積み重ねていく予定である。

【課題】一人1台のGIGA端末が導入され、NEXT GIGAが始まっている学校現場ではよりよい活用方法が日々生まれ活用されていることと予想される。また、中学校・技術科との連携が求められる。中・長期的な視点での取り組みも必要である。

【今後の活動予定】日々の授業研究に加え、各地域の研修・授業支援や児童向けのワークショップを行う。プログラミング教育についての実践の普及と資質の向上の両方を維持しながら、本研究会は研究に取り組んでいく。

<令和7年度連絡先>

団体名		東京都プログラミング教育研究会	
代表者	所属	杉並区立杉並第六小学校	
	職氏名	校長 豎山 浩人	
	連絡先	03-3314-2164	
事務局	所属	杉並区立沓掛小学校	
	職氏名	主任教諭 鈴木 康晴	
	連絡先	03-3390-4158	
団体ホームページ	URL	https://sites.google.com/view/tokyo-programming/	二次元コード